

記録

35ミリ

カラー／25分

英・仏・独・西・葡・

中国語版

■企画
外務省

スタッフ

■製作・演出

村山英治

■脚本

村山正実

■撮影

村山和雄

■編集

沼崎梅子

■音楽

間宮芳生

■解説

ブライアン・

マキアーニー

(英語版)

〔富士山〕

第16回日本紹介映画コンクール優秀作品賞

古来、日本人の憧れの対象であった富士山。遠くに見るその優美さと、登って知る荒々しさ、富士山の素顔とそこに見られる日本人の姿を四季折々の変化の中にとらえている。



遠い昔から富士山は、日本人の山岳信仰の対象となり、その姿の美しいところから詩にもうたわれ絵画にも描かれ続けてきた。中でも葛飾北斎の絵は有名である。

富士山は雲という厚いヴェールを被っていることが多く、偶然に思いがけないところで顔を出しているのを見ると、その崇高さにうたれる。しかし、その富士山に近付き登ってみると、山腹から頂上にかけては荒々しい岩ばかりの男性的な火山で、その表面はたえず風化と浸食が進んでいる。富士山を美しいコニーデ型の火山にした巨大な中央火口。火山活動は今は休止しているが、この火道は地下深所のマグマにつながっているといわれている。

富士山は植物学的にみても大変興味のある山である。麓の溶岩台地の上には、様々な森林が見られる。裾野の広い原生林は野鳥の宝庫で、小鳥の種類は約100種類が記録されている。

富士山は日本人の憧れ、美の象徴として日本人の心情をあらわし、富士をめぐる日本人の四季の生活にも君臨してきた。山頂には古くから神社があるが、現代では大きな気象観測所も建っている。富士山の美しさは、富士に憧れ富士を愛する日本人のところにほかならない。それはこれからも語りつがれていくだろう。夏は登山者が絶えず、子供連れの家族も珍しくないが、信仰の山として昔ながらの白装束の信者たちも絶えない。しかし、冬の富士山は連日風速20メートルの季節風が吹いていて、容易に人を近づけない。